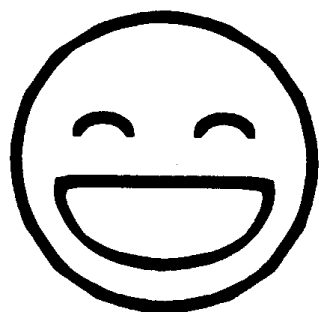


HSK NPO 法人「文福」ニュース ****



「障」ちゃん



NO.314

冒頭の一言

8 月に入り、暑い日が続いていますが、皆さんの体調はいかがでしょう。

今年、気象庁は最高気温が 40 度以上になる日の名称を公募し、その結果「酷暑日」と決めました。ニュースなどで耳にしたことがある方も多いかもしれません。

アンケートでは、正式名称以外にもたくさんのユニークな案が寄せられました。

「汗日暑日暑(あせびしょびしょ)」や「サウナ日」、「激アツ日」など、思わず笑ってしまうものから、「危険猛暑日」「自宅待機日」といった切実な案まで、投稿者の思いが伝わってきます。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、汗びしょびしょになりながらも、どうか無理のない形でこの夏を乗り切っていきたいですね。

ゆき

—もくじ—

冒頭の一言 … 1	2025 年度 第 24 回 NPO 法人文福総会報告 … 2
新理事長ご挨拶 … 3	福田さんとの思い出 … 4-7
2026 年 6 月 9 日 障害者部会報告 … 8	
季刊誌「まっち 36 号」原稿大募集! … 9	ありがとうコーナー … 10

2025 年度 第 24 回 NPO法人文福総会報告

6 月 20 日土曜日、文福事務所にて第 24 回 NPO 法人文福総会を開催しました。

先に全員の賛成を得て、議長を選出し、出席者 9 名、委任状 3 名で定足数を満たしました。

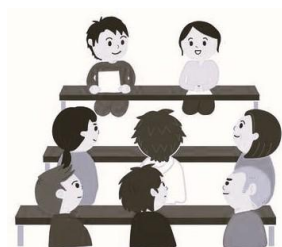
2025 年度事業報告では、障害者部会、介護人派遣事業、情報提供事業、レクリエーション事業などについて報告が行われました。

続いて、2026 年度事業計画では、ヘルパー不足への対応、人材確保・定着、障害者部会の会員拡大、地域との連携強化などを重点目標として取り組むことが確認されました。

決算報告、役員改選、役員報酬についても審議され、すべての議案が満場一致で承認されました。

最後に、新理事長より、今後も障害当事者と健常者が共に支え合いながら、地域とのつながりを大切にし、文福の活動を継続・発展させていく決意が述べられ、総会は閉会しました。

報告:中村



ご 挨拶

NPO法人文福 理事長 吉田 健太

5 月に前理事長の福田が逝去し、代わりに理事長を務めさせていただくことになりました、吉田です。

自分が文福で働き出して、約20年ですが、その当時はこんな状況になるとは思いもよらず、どこかのほほんと仕事をしていたなと思います。

言わずもがな文福ではヘルパー派遣事業を始め、活動も行っております。

それらを通して障害者の自立生活を支え、それが地域交流は勿論、社会参加に繋がっていければと考えています。

今後は、なかなかできずにいた地域交流や事業所間での横のつながりを築いていくことも課題の一つです。

これまで障害者スタッフと健常者スタッフ共に運営してきた経緯がありますが今後より一層、スタッフ同士の交流を深め、遠慮なく意見の言い合える環境を作り、スタッフ全員が一丸となって活動や事業に真摯に取り組んでいきます。

私の持論ではありますが、「させてもらう立場である」という考えを忘れず、一つ一つの仕事に丁寧に向き合っていきたいです。

若輩者ではありますが、今後とも宜しくお願い致します。

福田さんとの思い出

前号で、前理事長の福田文恵さんが5月に旅立たれたことをお伝えしました。

福田さんに関わったスタッフ・アルバイトさんから思い出を寄せて下さいましたので、ここに掲載します。

原稿をお寄せくださった皆様、ありがとうございます。

あけみん

福田さんとは、約3年にわたり関わらせていただきました。長い時間を共に過ごし、多くのことを学ばせていただきました。特に、「この仕事が向いている。」と言っていたことは、今でも心に残っています。その言葉は、私にとって大きな励みとなり仕事を続ける支えになりました。福田さんとの出会いに感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

こう

私が思い出す事は、サスペンスドラマを楽しそうに観ていたことや、私のくだらない話をただただ聞いてくださった事、なかでも印象に残っているのは、THE ALFEE のラジオを微笑みながら聴いたり、若かりし頃の高見沢さんの映像を見て「可愛い…」と呟きながら鑑賞していたり、届いたグッズを楽しそうに開封したり…と“推し活”をしていらした姿です。

その熱狂的な姿に触発され、私の推し活も加速していったといっても過言ではありません。

福田さんが亡くなる少し前、コンビニへ買い物をするついでに散歩をしたことがありました。

「ずっと同じ病室の景色なのもつまらないですねえ…」そんな話をしながら院内を散策し、別の棟をウロウロしていたところ、二人そろって看護師さんに「別の棟には来ないでくださいね」と強く注意されてしまいました。

「怒られちゃいましたねえ！！もうこのまま夜風にでも当たりにいきますかー！」そんなふうに笑いながら院内を歩いた時間が、まるで昨日の事のように思い出されます。

振り返れば、穏やかで優しい時間ばかりが心に残っています。

福田文恵様のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

ありがとうございました。

M.S.

文恵さんと出会って 13 年。主に日中の介助を担当させていただきました。

私にとって忘れられない思い出は、2 年前（2024 年 8 月 25 日）S さんと 3 人で出掛けた有明アリーナでのライブ「THE ALFEE 50th Anniversary」です。

当日の空は青く、開場までの時間を有明の風を感じながら過ごしました。会場の大きさと集まったファンの多さに只々、圧倒されました。ライブを終えて人波の

中から S さんと現れた文恵さんの何とも言えない高揚感と喜びに満ちた笑顔は今でも忘れられません。

翌朝、ホテルの近くで朝食をとっていると、「実は、高見沢さんのギターの展示会もやっているんだけど…」と文恵さんが遠慮がちに話されました。「無理だよね。いいよ。」という言葉に、帰りの新幹線の時間を調べ、渋谷までの移動時間を計算すると「いける。ここまで来たんだから、行こう！」という結論になりました。(時間に余裕を持って行動するタイプの文恵さん、私と S さんの勢いに巻き込まれたかも!?)

予定を変更して向かった展示会場「ESP Museum」はライブ翌日ということもあり大勢のファンであふれていました。エレベーターへ向かう途中には階段もありましたが、スタッフの皆さんにも助けていただきながら会場へ。間近で数々の高見沢さんオリジナルのエンジェルギターなどを見つめる文恵さんの輝く瞳に、今ここに来ることが出来て本当に良かったと心から思いました。

自由に生きること、好きなことを大切にすること、そして、それを実現する喜びを、文恵さんとともに経験させていただきました。

プライベートな時間も常に介助者と過ごさなければならない生活は、きっと窮屈に感じられることもあったと思います。それでも、笑ったり、悩んだり、ときには一緒に泣いたりした時間は私にとって何にも代えがたい宝物です。

困ったことがあるたびに、二人で「もう、笑うしかないね。」と顔を見合わせて笑ったことを今でも懐かしく思い出します。

文恵さん、本当にありがとうございました。また、いつかどこかで。

Penko

文恵さんへ

そちらの世界で、ご両親やお仲間さんたち、日下さんと会えていますか？

THE ALFEE のお三方の今後の活躍が見られなくてさぞ心残りでしょうね。

文恵さんとの出会いは、10年以上前に地域生活を目指していたころに元スタッフから文福を紹介されて、お宅に訪問して様子を見させてもらったことがきっかけでした。生活のことやお金のこと、制度についてお話を聞きました。その時にすき焼きをごちそうになったことを覚えています。

それからは文福と関わるようになり、ザ★カイジヨを昨年まで一緒に運営できたのがつい昨日のことのよう思い出されます。

プライベートでは、ライブで偶然一緒になることがよくあり、さだまささんの時は大変驚きました。

最後に一緒に過ごしたのは、文恵さん宅でお好み焼きパーティーに呼ばれたことで、周囲がパタパタしているそばでお好み焼きなどを食べて話していましたね。

文恵さんと会っていた時は、様々なヘルパーさんと関わりを持ててうれしく思いました。

THE ALFEE のお三方と、私たちのことを空からずっと見守ってくださいね。

2026 年 6 月 9 日 障害者部会報告

① 5 月 23 日、理事長であり障害者部会員でもあった F 氏が永眠した。

② 総会について

6 月 20 日(土)の総会前に実施するヘルパー研修会(虐待防止研修)において、障害者スタッフの C・M 氏と N 氏が、自身が受けた虐待の体験や身近で見聞きした虐待事例について発表する。

③ 部会の通帳について

現在、障害者部会の通帳は五福支店の富山銀行を利用しているが、事務所から遠いため、北陸銀行へ変更することにする。

今期の会費が集まり、前回発行した『まっち』の振込手数料が引き落とされた後に、残高を北陸銀行へ移す。

④ 障害者部会員を増やすためのリーフレットについて

障害者部会のリーフレットは、すでに富山市役所、富山県社会福祉協議会、富山市社会福祉協議会、自立生活支援センター富山へ配布した。

今後、新たな配布先として以下の施設へ持参することにする。

・あかりハウスに N 氏・ラッコハウスに T・M 氏・サンシップに C・M 氏、が配布を行う。

⑤ 今後の部会活動について

今後取り組みたい活動として、昨年度実施したコンサートのようなものをまた開催したいという意見が出た。

実現に向けて、今後少しずつ準備を進めていくこととし、各自が心当たりのあるアーティストなどに声をかけ、具体的に検討を進めていく。

次回部会 2026 年 7 月 7 日(火)14:00～

季刊誌「まっち 36 号」原稿大募集！

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」35 号テーマ『涙』を発行する事ができました。

これもひとえに皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をおかりしてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

次号のテーマは『怒りと笑い』です。

この相反するテーマを皆さんがどのようにとらえ、どのように書いて下さるのか、編集者一同、今からワクワクしています。

『怒り』と『笑い』を別々の作品として書いて頂いても構いません。

貴方の『怒り』や『笑い』をぜひ【まっち】にお寄せください。

皆さんからのステキな原稿を、編集者一同心よりお待ちしております。

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしております。

メールでの投稿：macchitti@gmail.com

FAX での投稿：(076)460-0390

郵便での投稿：〒930-0138 富山市呉羽町 7276-3

NPO 法人 文福『まっち』編集係

までお送り下さい。よろしくお願い致します。

尚、『まっち』を一読されてみたい方、文福事務所に常時置いてあります。上記に記した連絡先にご連絡ください。

『まっち』編集者一同

ありがとうコーナー



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今後もよろしくお願いします。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

夏真っ盛りですね。

毎年夏になると、施設にいた頃、海水浴で海に行ったり、プール、キャンプ場へ行ったりしたことなどが思い出されます。

あらためて振り返ると、貴重な体験をさせてもらえたんだな～と感慨にふけております。

夏のイベントに出かける人や、計画されている人もいるかもしれませんね。熱中症対策をして楽しんでください。(Penko)

2026 年度新規会員・継続会員 荒戸 紗貴さま 栗島 克幸さま
坂井 由美子さま 中村 薫さま 森田 知恵さま 吉田 健太さま
久保 ゆかりさま 大野 啓子さま 道永 麻由美さま 清水 博史さま
村上 隆さま 森 睦美さま 高林 明美さま 浅生 弘美さま
加藤 政和さま 江尻 一郎さま 小川 毅さま 中山 君枝さま
藤塚 清美さま 塚本 聡さま 青木 美保子さま 匿名さま
伊佐 良夫・誠子さま 水島 俊雄さま 田村 美岐さま 吉川 行唯さま
高寺 和貴子さま 泉 正美さま 松浦 義和さま 寺島 咲希さま
宮本 光代さま 山口 明美さま 加藤 アイコさま 掛田 博子さま
川原 登喜のさま

いただきもの 波多 康世さま

カンパ 青木 美保子さま 匿名さま

発行人:北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉312

編集人:特定非営利活動法人 ^{ぶんぷく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX(076)460-0390

定 価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。